

2020年度前期 オンライン授業に関する 学生アンケート調査

調査結果概要報告

調査概要

調査目的

1. オンライン授業に対する学生の学習環境等の現状把握
2. 教員、大学教務への情報提供
(後期以降の授業設計のため)

補足

- ・ 本学では2020年前期において、COVID19感染予防のため、一部の実技科目を除き、全ての講義科目をオンラインで実施した
- ・ オンライン授業とは、遠隔会議ツールを利用したリアルタイム授業と、学生が好きな時間に学習できるオンデマンド授業の総称
- ・ このアンケートはオンライン授業開始 7～9 週目に実施された

調査方法

1. 調査時期

- ・ 調査実施期間 2020年6月19日（金）～7月9日（木）

2. 調査対象

- ・ 2020年6月19日時点で在籍する全学部全学年の学生及び
科目等履修生 1,500名

3. 調査方法

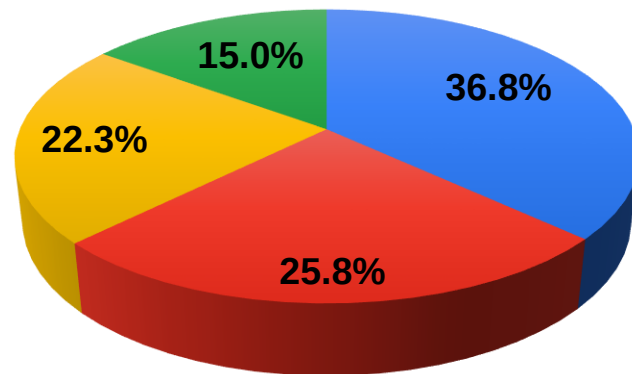
- ・ Google Formによるオンライン調査

4. 回答者

- ・有効回答数 600（有効回答率 40.0%）
- ・学部学科・学年による内訳は表1・図1のとおり

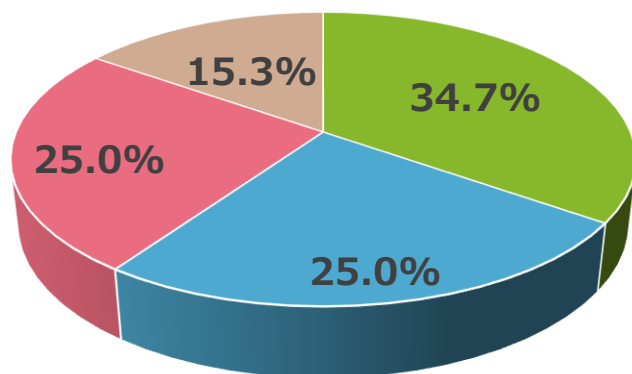
表1. 調査対象者内訳（各学部別割合）

	1年生			2年生			3年生			4年生			全体		
	対象者	回答者	回答率	対象者	回答者	回答率	対象者	回答者	回答率	対象者	回答者	回答率	対象者	回答者	回答率
経営学部地域ビジネス学科	157	75	47.8%	144	54	37.5%	146	54	37.0%	107	33	30.8%	554	216	39.0%
経営学部国際ビジネス学科	43	21	48.8%	31	10	32.3%	30	4	13.3%	17	7	41.2%	121	42	34.7%
人間健康学部人間健康学科	148	81	54.7%	138	64	46.4%	126	45	35.7%	112	38	33.9%	524	228	43.5%
教育学部子ども発達学科	75	44	58.7%	83	27	32.5%	72	31	43.1%	68	12	17.6%	298	114	38.3%
その他（科目等履修生）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	0.0%
合計	423	221	52.2%	396	155	39.1%	374	134	35.8%	304	90	29.6%	1,500	600	40.0%



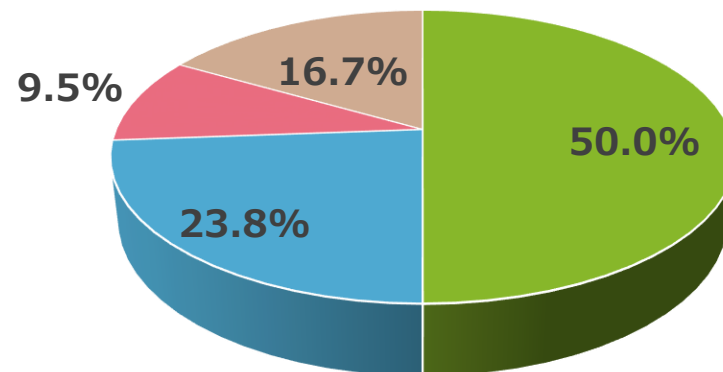
■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生

図 1 - 1. 調査対象者内訳 (学年別：大学全体)



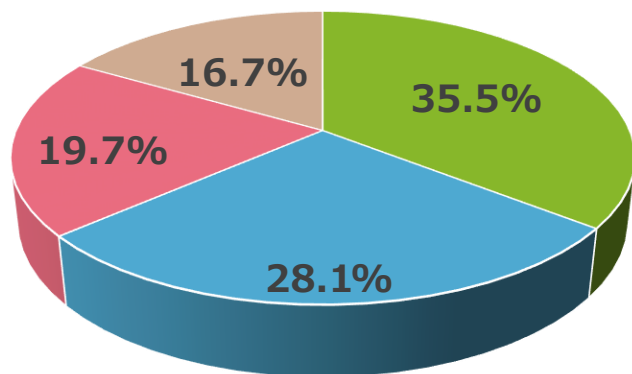
■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生

図 1 - 2. 調査対象者内訳
(学年別：経営学部地域ビジネス学科)
(n=216)



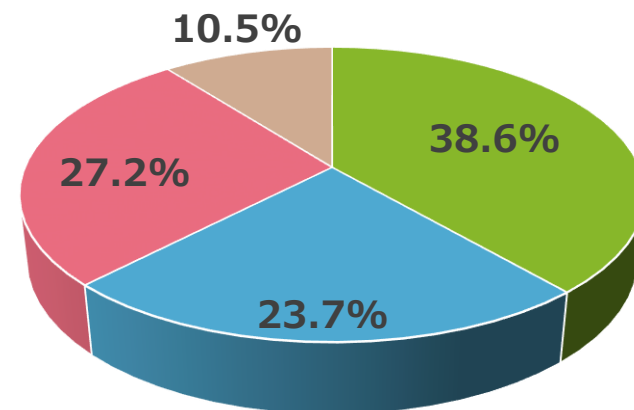
■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生

図 1 - 3. 調査対象者内訳
(学年別：経営学部国際ビジネス学科)
(n=42)



■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生

図 1 -4. 調査対象者内訳
(学年別：人間健康学部人間健康学科)
(n=228)



■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生

図 1 -5. 調査対象者内訳
(学年別：教育学部子ども発達学科)
(n=114)

- ・ 大学全体では、低学年（1～2年）の回答率が高く、有効回答者数の62.6%となった
- ・ 各学部とも1年生の回答率は50%を超えた
- ・ 学部内訳は、経営学部（地域・国際ビジネス学科計）43%、人間健康学部（人間健康学科）38%、教育学部（子ども発達学科）19%

5. 質問項目

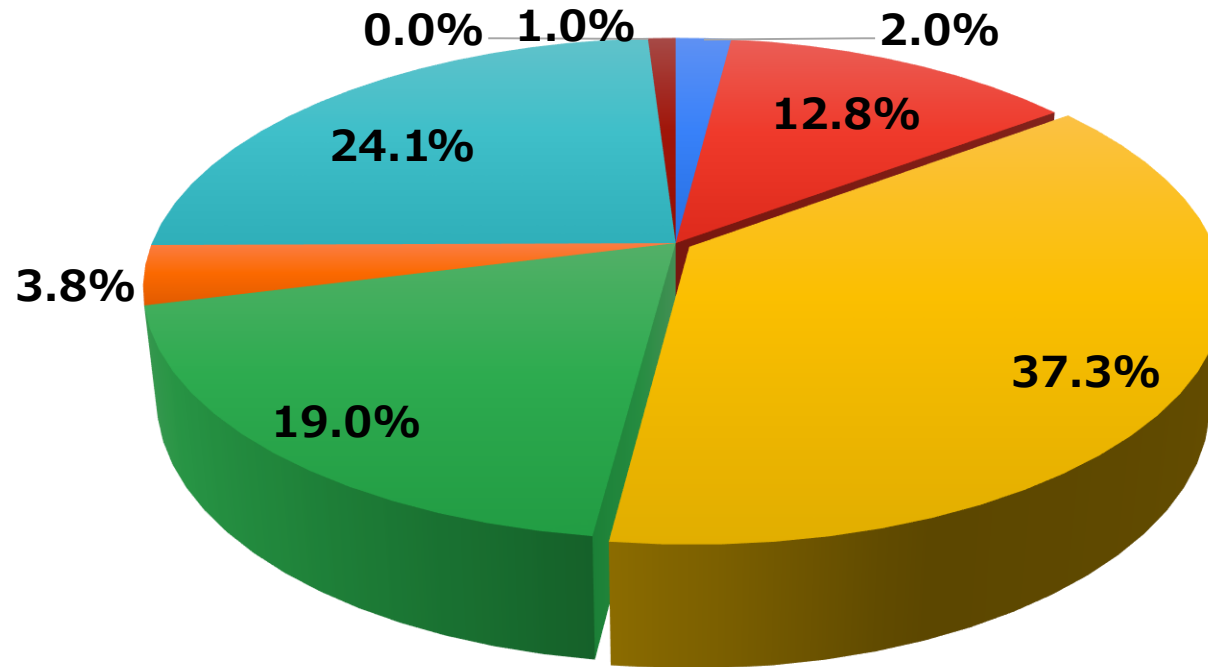
デバイス環境 現在の	1	学習に使用している機器
	2	資料などの印刷状況
	3	オンライン授業にあたり新たに購入した機器
デバイス環境 今後の	4	買い替えを含む購入予定
	5	新規購入や買い替えを検討している機器
ソフトの 所有	6	MS Office製品について
通信 環境	7	現在の通信状況

オンライン授業に関して	8	①授業形態による受講しやすさ（リアルタイム・オンデマンド） ②Google Classroomの操作方法 ③コミュニケーションのとりやすさ ④リアルタイム授業の受講環境・状況 ⑤オンデマンド授業の受講状況 ⑥授業形態による学習意欲の高まり（リアルタイム・オンデマンド）
	9	Google Meet によるリアルタイム授業の頻度について
	10	オンライン授業において有効かつ有益だと思う学習素材
	11	オンライン授業で苦労している点
	12	オンライン授業で良かったと思うこと

オンライン授業に関して	13	他科目にも採用して欲しい授業方法（自由記述）
	14	授業全般の理解度について
	15 ・ 16	Googleサービスの継続使用希望（後期以降）

調査結果の概要

1. 学習に使用している機器は何ですか（単回答）



■ パソコン（家族共有）のみ

■ おもにパソコンだが、スマートフォンも使用している

■ おもにタブレットを使用している

■ あてはまる機器はない

■ パソコン（自分専用）のみ

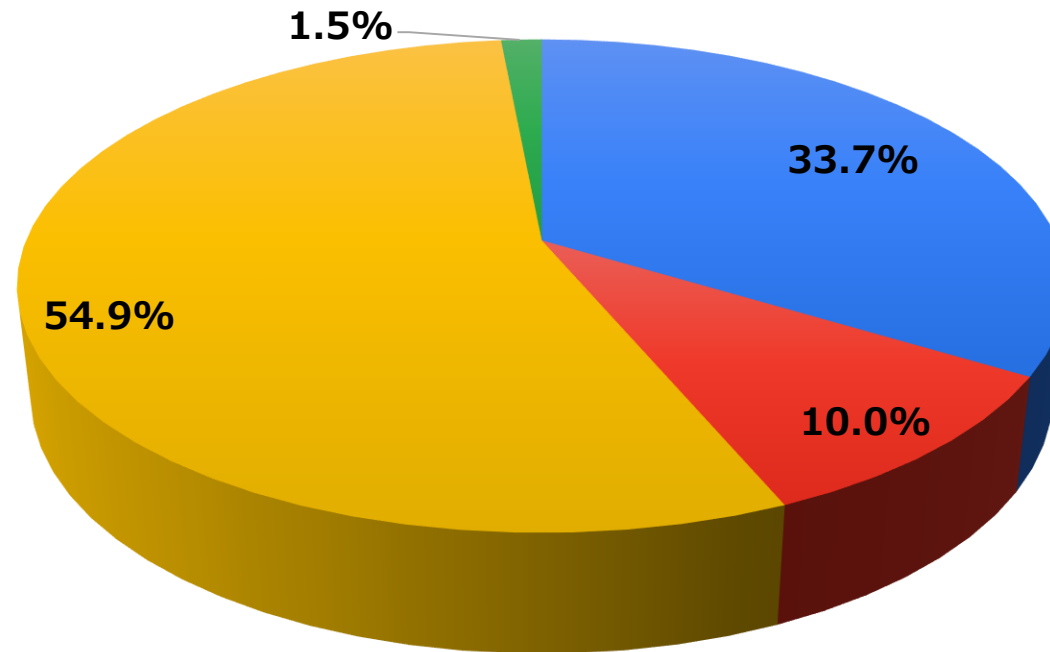
■ おもにスマートフォンだが、パソコンも使用している

■ すべてスマートフォンを使用している

■ その他 : パソコンとタブレット、またはスマホとタブレットの併用

回答者の約 4 分の 3 がパソコンを利用している

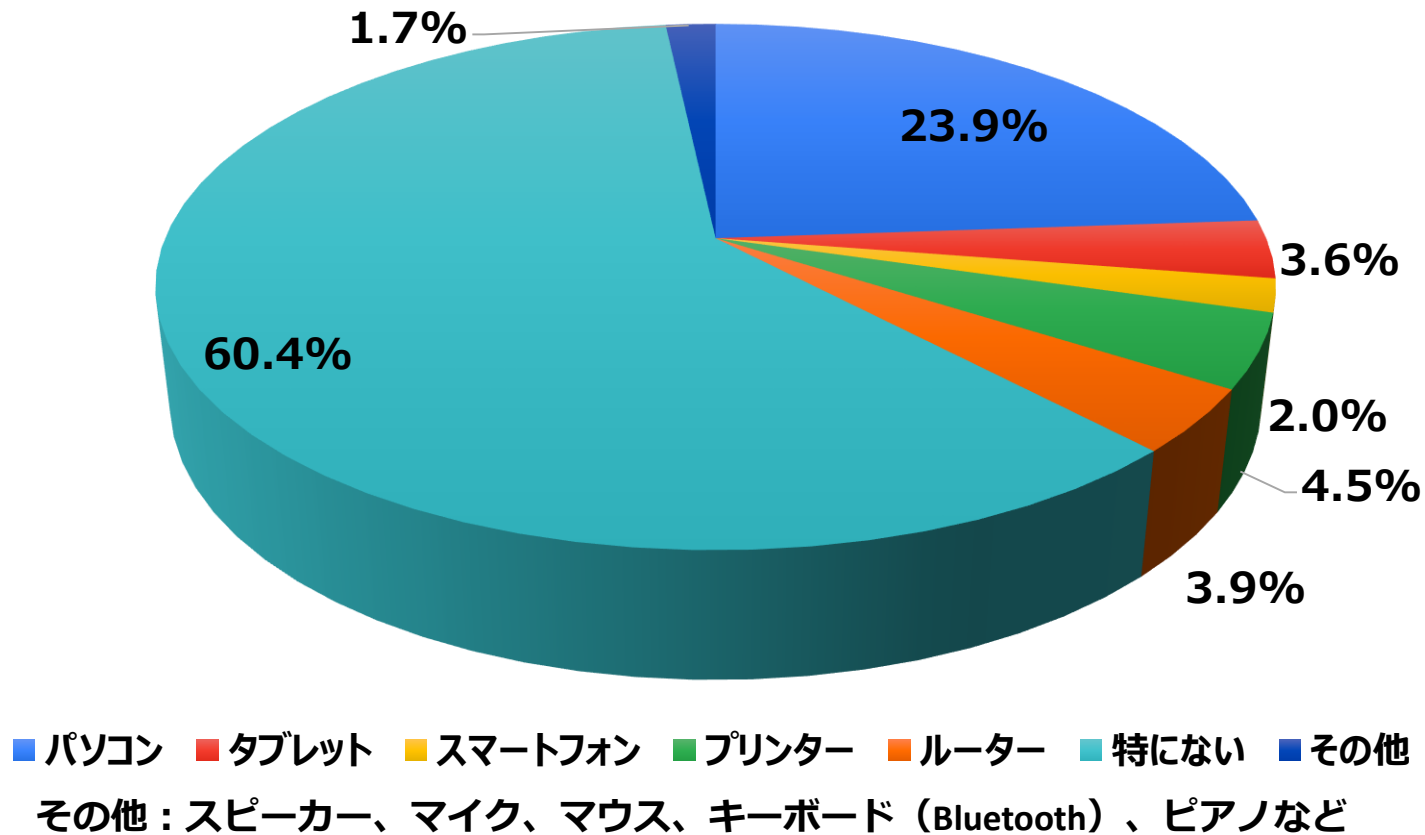
2. 資料などの印刷についてあてはまるものを選択してください（単回答）



■ プリンター（自宅内）を使用した ■ プリンター（自宅外）を使用した ■ 資料の印刷はしていない ■ その他
その他：コンビニエンスストアの利用（自宅外）も含む、必要性を感じない など

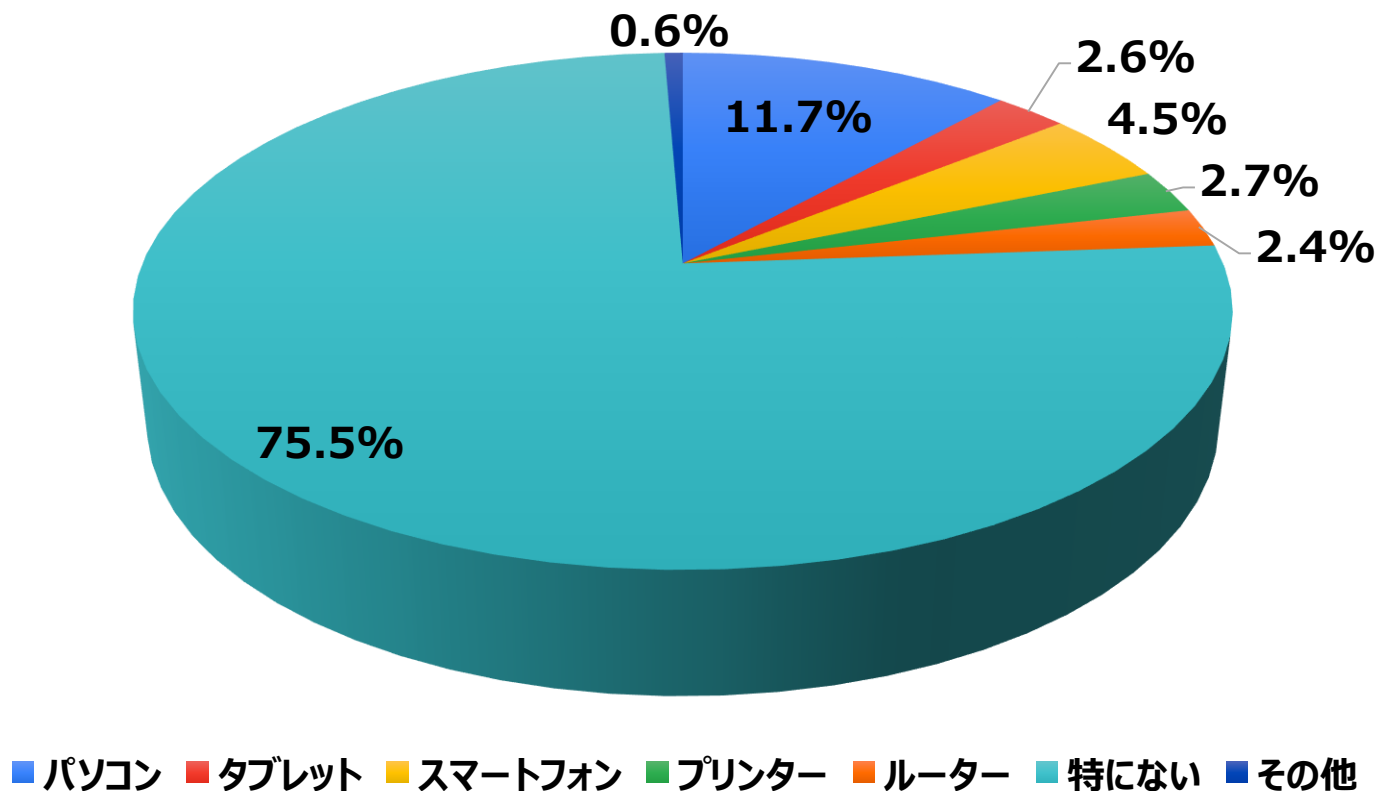
約 6 割は授業資料を印刷していない

3. オンライン授業にあたり、新たに購入（買い替えを含む）した機器は なんですか（複数回答）



約 6 割の学生は特に準備として購入したものはなかった

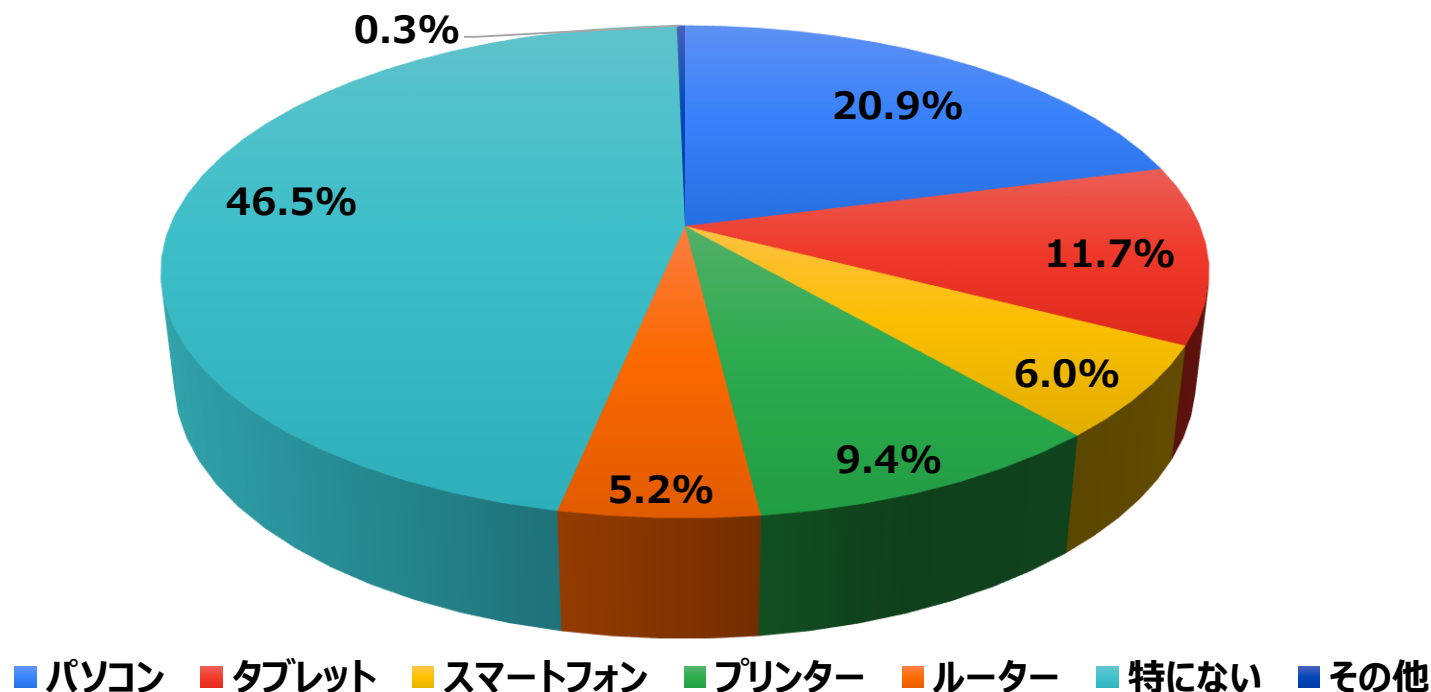
4. 現在、買い替えを含む購入を予定している機器はありますか（複数回答）



その他：SIMカード、マイク、ピアノなど

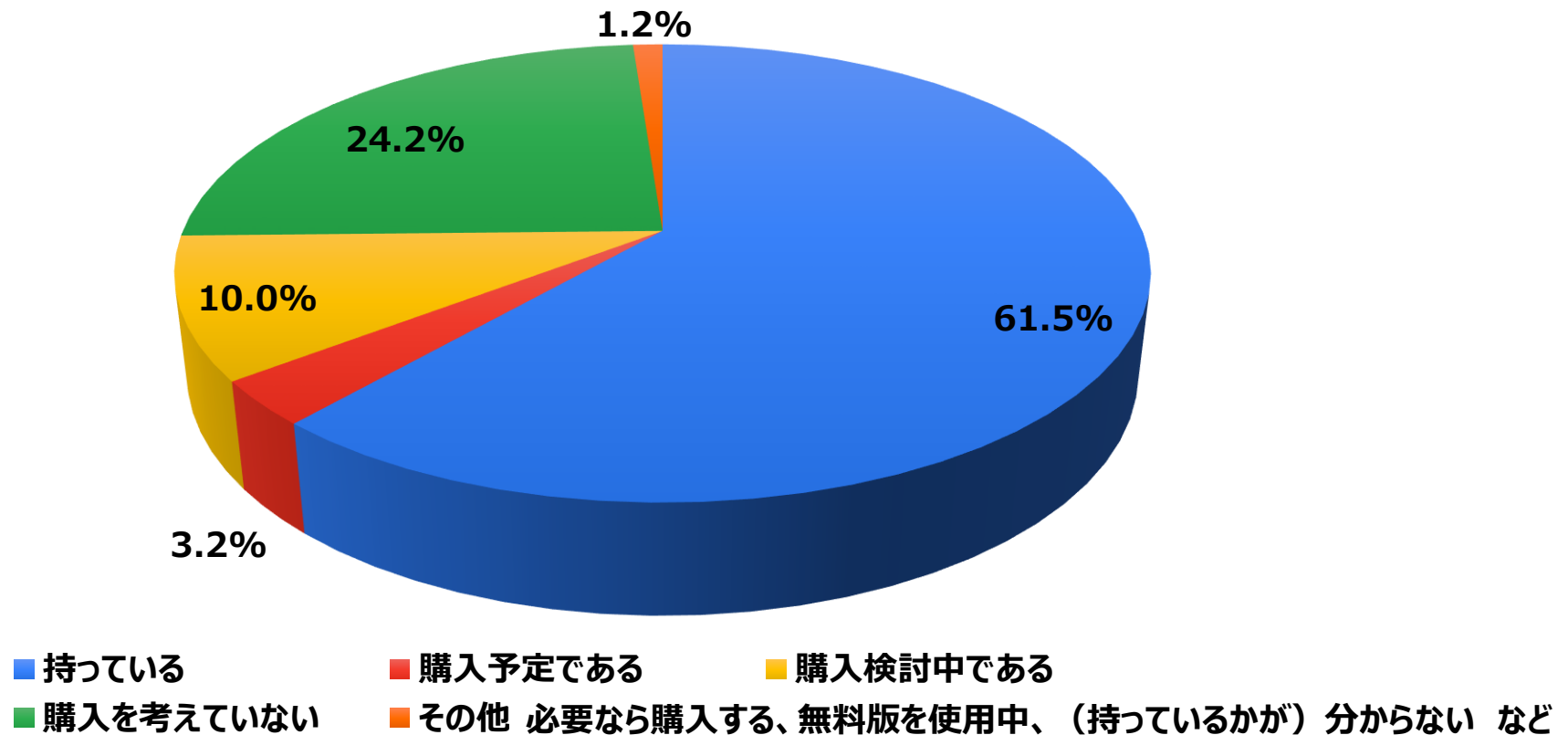
約75%の学生は機器の購入検討をしていない

5. 現在、購入予定はないが、必要性に応じて購入（また買い替え）を検討する機器について、あてはまるもの全てを選択してください（複数回答）



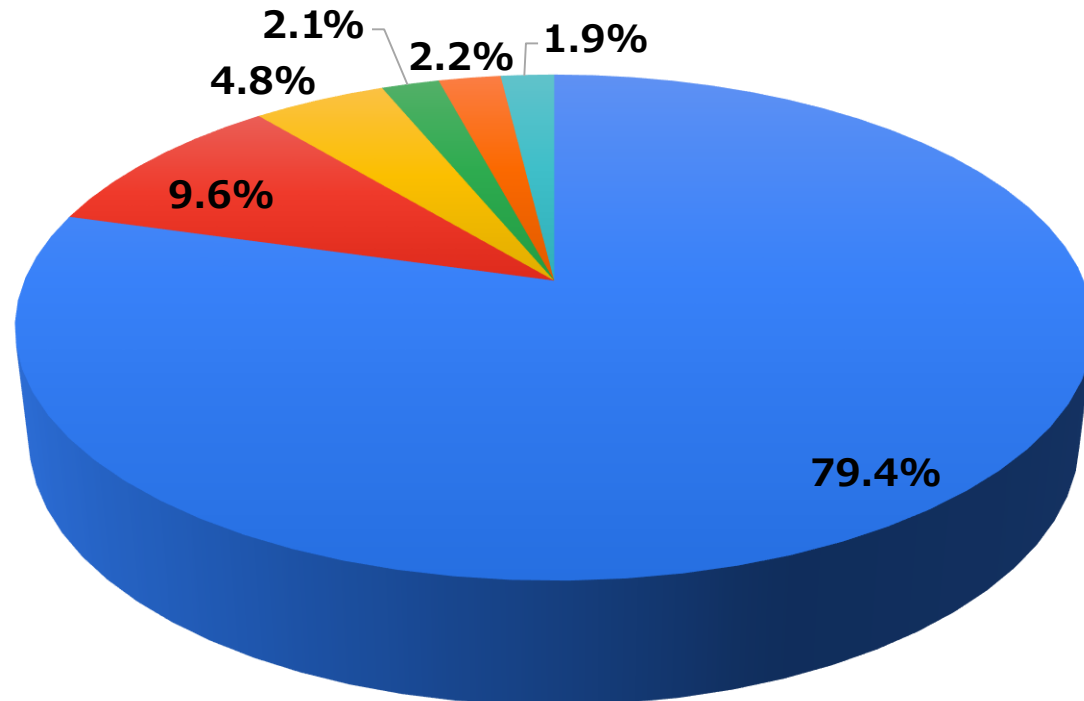
PCを持たない学生約25%のうち、20%は必要に応じて購入する可能性がある（回答者の5%がPCの購入意向あり）
全体では約2割はPCを持たない学生が存在する

6. マイクロソフトの製品、Microsoft Office（ワード、エクセル、パワーポイント）について選択してください（単回答）



現状 6 割強の学生がマイクロソフトの製品を保有

7. 現在の通信状況についてあてはまるものを2つまで選択してください

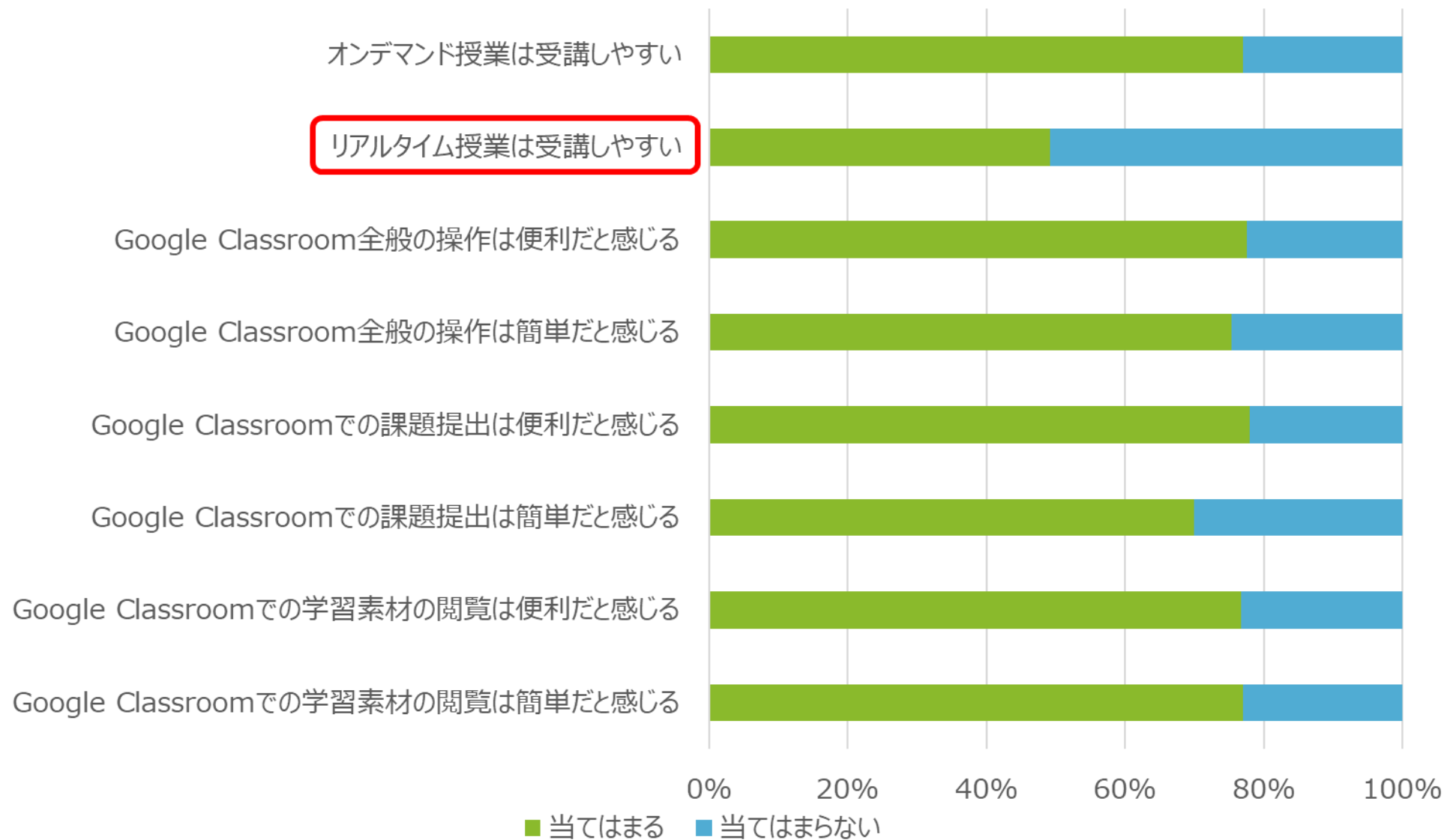


- 問題なく受講できている
- 通信量に制限があるので、計算しながら受講している
- 通信制限により受講できない、または課題を期限内にできない時がある
- オンライン授業受講にあたり、スマホや Wi-Fi などの通信契約を変更した
- 現在、スマホや Wi-Fi の通信契約の変更または新規契約を検討中である
- その他

約 8 割は問題なく受講できる環境

回答者の15%程度が通信になんらかの不具合を抱えている

8. オンライン授業に関してあてはまるもの（選択式回答）



リアルタイム授業は受講しやすいといえない

9. オンライン授業に関してあてはまるもの（選択式回答）

授業担当教員とのコミュニケーションがとりやすいと感じている

通信環境（回線速度・通信量）によって受講状況が左右されやすいと感じる

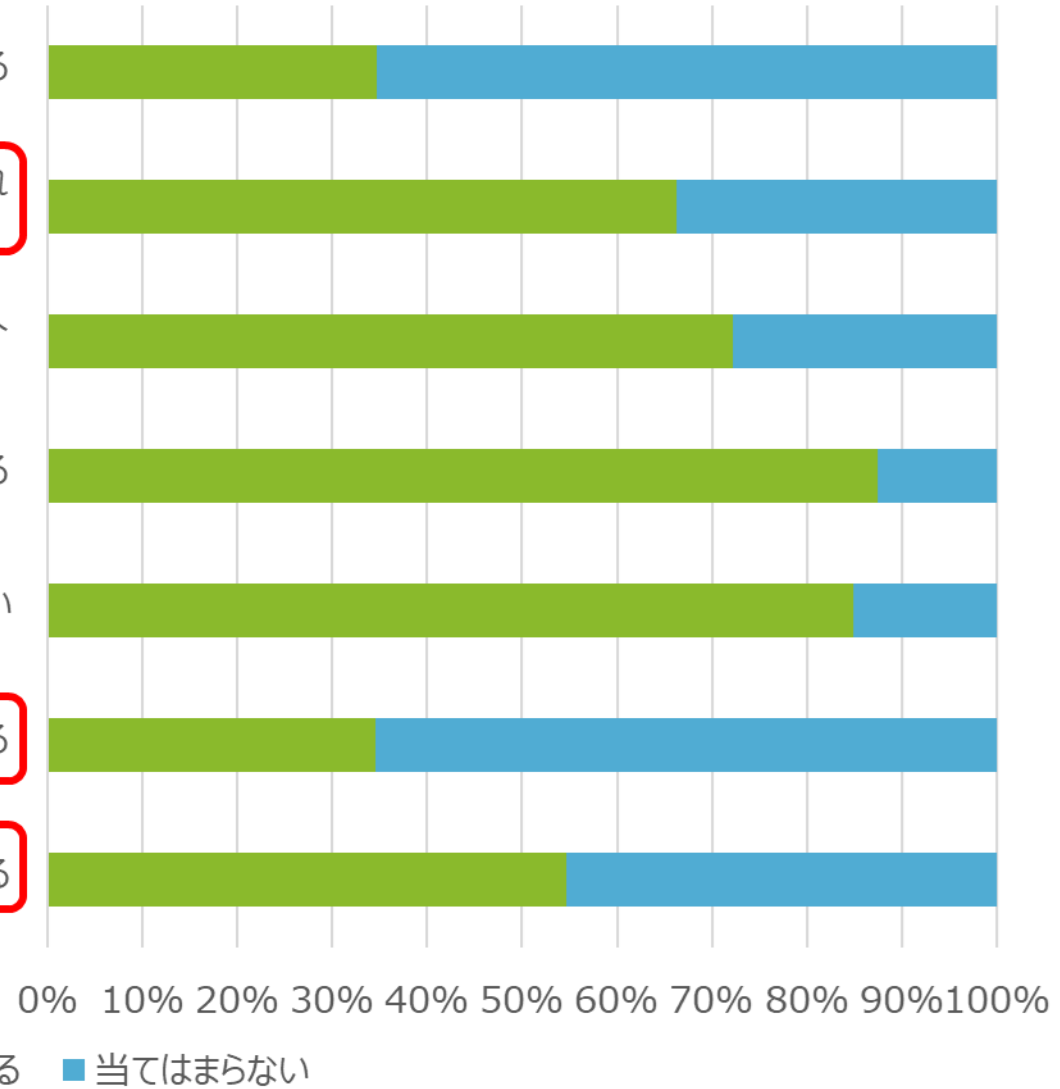
Google Meetを用いた授業では、受講場所に関して同居人（家族など）への配慮等が必要である

Google Meetを用いた授業では、時間通りに参加できている

オンデマンド授業では、自分のペースで学習しやすい

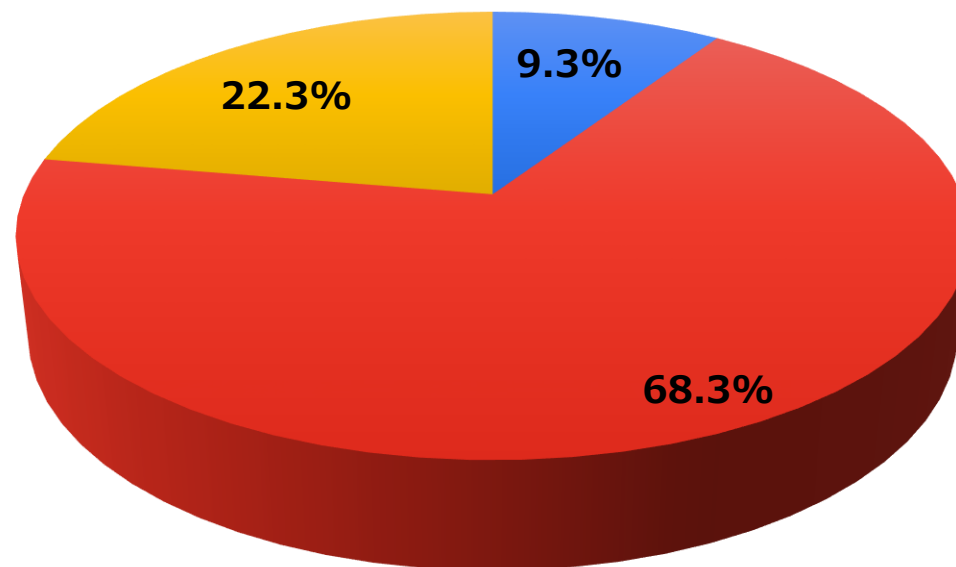
Meetを用いた授業形式が学習意欲が高まる

オンデマンドの授業形式が学習意欲が高まる



授業担当教員とのコミュニケーションが課題

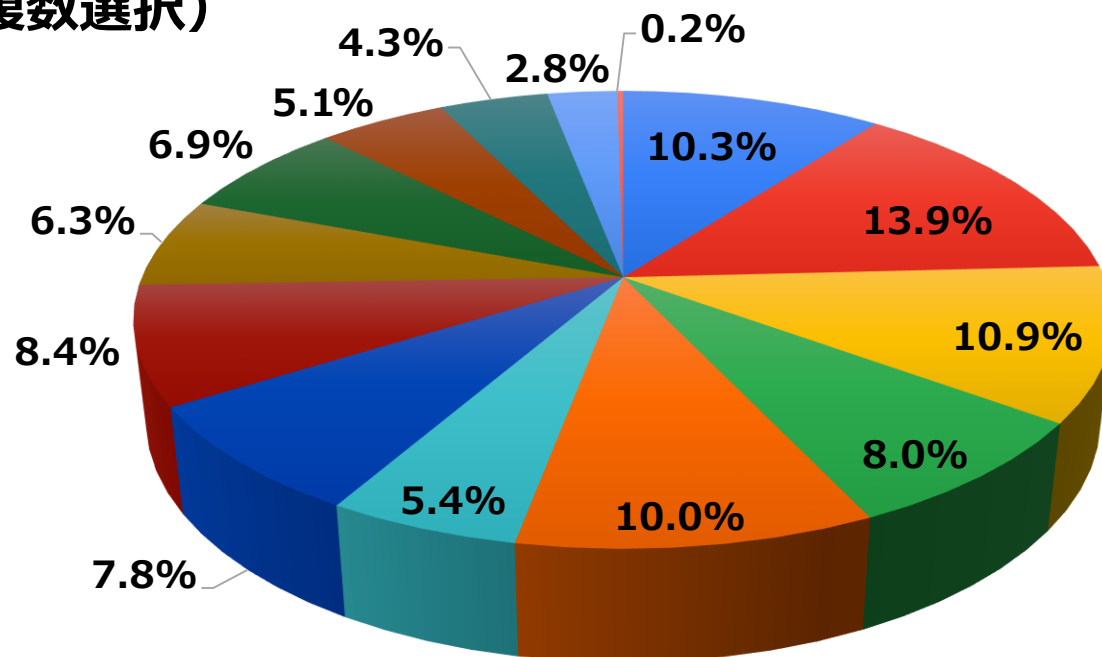
10. Meet によるリアルタイム授業について、あてはまるもの（単回答）



- 週あたりのリアルタイム授業の回数は多いと思う
- 週あたりのリアルタイム授業の回数は適切だと思う
- 週あたりのリアルタイム授業の回数は少ないと思う

リアルタイム授業の回数は適切と感じている学生が約7割
一方で、少ないと感じている学生も2割強存在する

11. オンライン授業において有効かつ有益だと思う学習素材は何でしょうか (複数選択)



第1位 動画素材
第2位 音声付パワーポイント
第3位 文書資料
第4位 ガイダンス資料

上位4つが10%以上

ガイダンス資料

ワードやドキュメントなどの文書資料

チャット機能

特になし

動画素材

(加工・分析のための) データ素材

教員からのフィードバック

その他: オンラインは有効ではない、模範解答の提示、要点のみをおさえたデータなど

音声付きパワーポイント

教科書・参考書

検索などの自己学習

音声なしパワーポイント

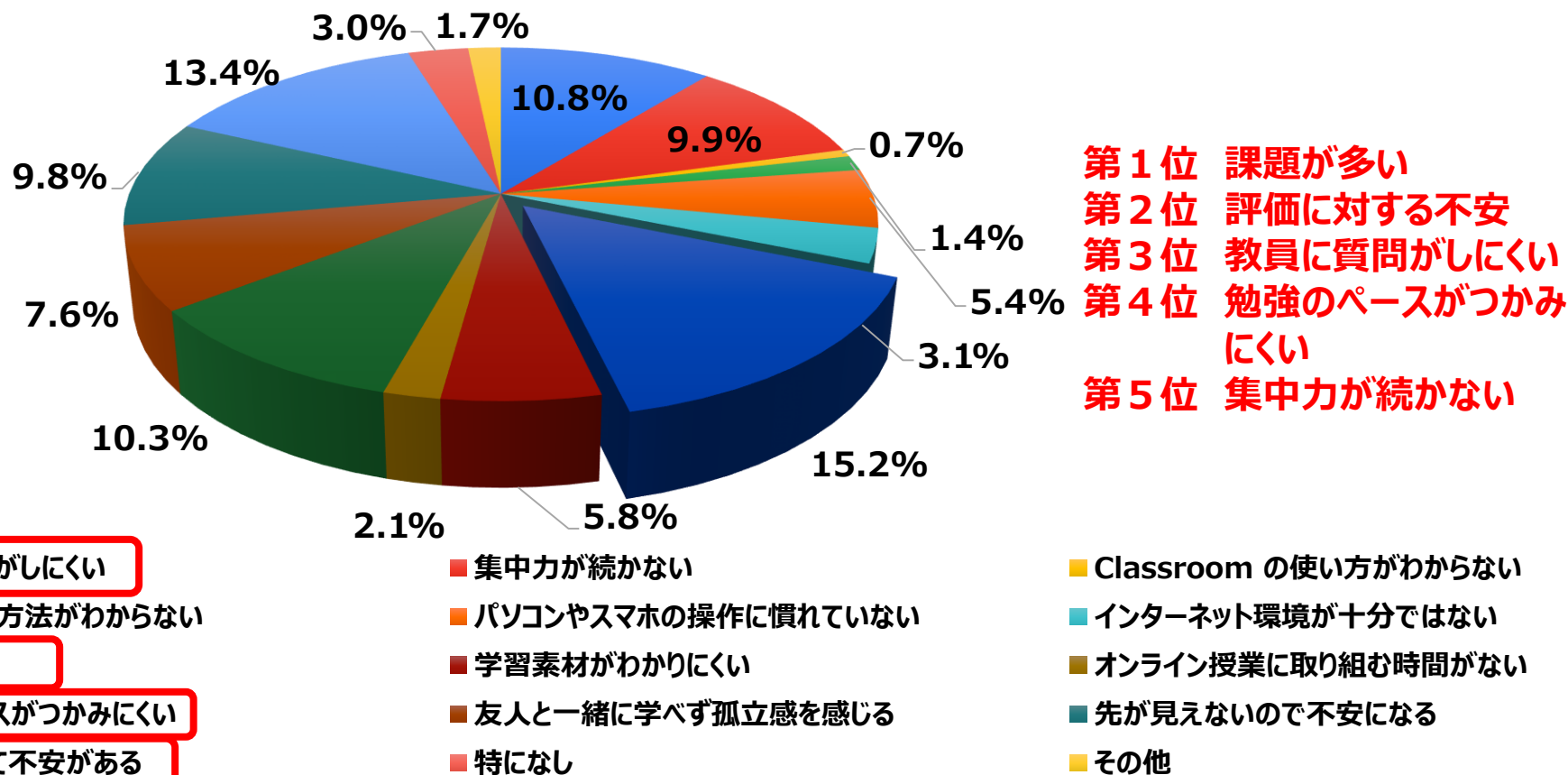
Meet などのリアルタイム授業

課題に基づく復習

授業全体の設計が分かる資料や文書

動き（音声）のついた学習素材が好まれている

12. 現在、オンライン授業で苦労している点は何でしょうか。あてはまるものを5つ選択してください。



課題量、成績評価、教員とのやり取り、学習ペースが上位
操作方法・通信環境による苦労は低い

自由コメント（抜粋）

- ・ **オンライン授業特有のもの**

- ・ 学習意欲がわからない
- ・ 分かりにくい授業が多い
- ・ オンラインでグループワークには無理がある
- ・ 採点されていないと提出できているか分かりにくい
- ・ 作業になっていると感じる
- ・ タイムラグによる問題
- ・ 課題提出日が分からなくなる

- ・ **Classroomの利便性**

- ・ 課題が出題されているかわかりにくい
- ・ 提出が間違いなくできているかが不安

- ・ **Googleドキュメントの利便性**

- ・ 使いづらい
- ・ 書き込んだ内容が消えてしまうことがある

自由コメント（続き）

- ・ **リアルタイム授業環境**
 - ・ 家族に気を使わせてしまう
 - ・ Meetで固まることがあり、聞き逃すことがある
 - ・ 受講人数が多いと通信がとぎれとぎれになる
- ・ **授業の学習素材について（学習素材がわかりにくい）**
 - ・ 文章だけではわかりづらい/理解できない
- ・ **コミュニケーションについて（教員に質問がしにくい）**
 - ・ 卒論の相談がしにくい・進みがおそくなる
 - ・ 外国語でコミュニケーションがとりにくい
- ・ **評価について（評価に対して不安がある）**
 - ・ 評価基準についての理解できてなく単位がとれるか不安
 - ・ 課題の出来が分からない

自由コメント（続き）

- ・ **教員の授業運営に関する問題**

- ・ Classroomの使い方を理解していない先生がいる
- ・ 深夜にメールがきても困る
- ・ 授業に先生が来ないことがある
- ・ レポートの提出期限が短い
- ・ 先生側のミスに対応できない
- ・ 課題提出が出席になる点に苦勞している
- ・ メールやコメントで質問をしても返ってこない
- ・ 締切はあるのに課題がこない
- ・ レポート課題が多い

- ・ **その他**

- ・ 動画や文章を読んでも内容がつかめない、時間がかかり睡眠不足
- ・ レポート課題に苦戦している
- ・ 本当に高い学費を払っている大学の講義なのかと思うことがある

自由コメントのまとめ（続き）

- **要望**

- デバイスの容量の問題で、音声なしのPDFもほしい（オンデマンド授業）
- リアルタイム授業は聞き逃すことがあるので、繰り返してほしい
- 対面の授業時の適度な課題や黒板を用いた授業動画の閲覧の方が記憶に残る
- レポート課題ばかりの授業ならば、必要資料をまとめて送付し、授業風景を録画されたものを視聴し、期末にレポート課題やテスト課題などを実施した方がよい

オンライン授業で苦勞した点上位（学年別）

- **1年生**

課題の多さ＞評価への不安＞教員への質問＞勉強のペース＞先行きへの不安

- **2年生**

課題の多さ＞評価への不安＞集中力が続かない＞勉強のペース＞教員への質問

- **3年生**

課題の多さ＞評価への不安＞教員への質問＝見通しへの不安＞集中力が続かない

- **4年生**

先行きへの不安＞教員への質問＞評価の不安＞勉強のペース＞集中力が続かない

1～3年生まで、課題の多さ、成績評価への不安が多い

オンライン授業で苦勞した点（学部別）

- **経営学部 地域ビジネス学科**

評価への不安＞課題の多さ＞教員への質問＞集中力が続かない＞勉強のペース

- 1-2年生は課題の多さが第1位、3-4年生は評価への不安が第1位

- **経営学部 国際ビジネス学科**

課題の多さ＞評価への不安＞集中力が続かない＞教員への質問＞先行きへの不安

- 勉強のペースに苦勞しているは第6位

- **人間健康学部 人間健康学科**

課題の多さ＞評価への不安＞教員への質問＞勉強のペース＞先行きへの不安

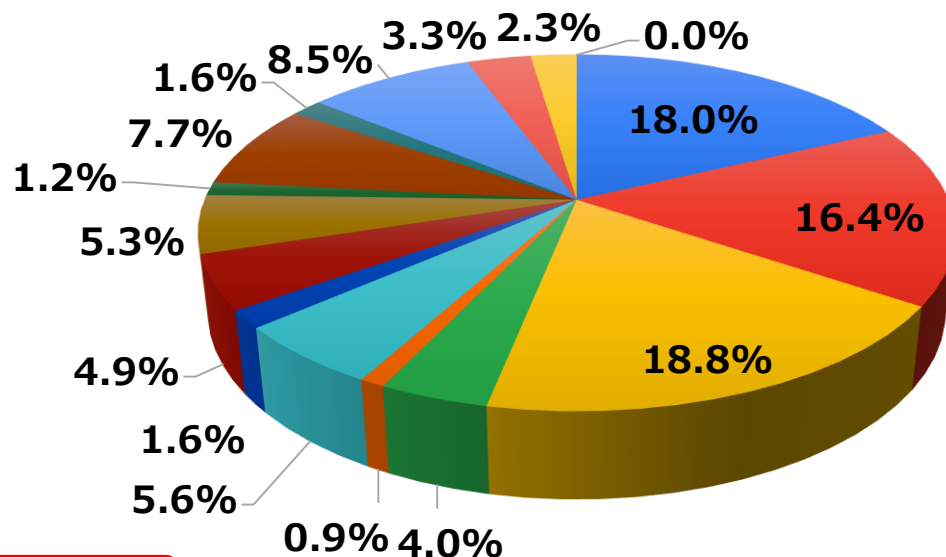
- 集中力が続かないが第6位、4年生の先行きへの不安・孤立感が高い

- **教育学部 子ども発達学科**

課題の多さ＞評価への不安＞勉強のペース＞先行きへの不安＞孤立感

- 教員への質問が第6位、集中力が続かないは第8位
- 1年生の孤立感のポイントが高い

13. オンライン授業で良かったと思うことはなんですか （5つ選択）



第1位 自分のペースで学習
第2位 自宅で学習ができる
第3位 好きな時間に学習

上位3つが他と比較して明らかに高ポイント

自分のペースで学習できる

- 教室より集中できる
- 教員に質問がしやすい
- 対面式より、発言しやすい
- 時間を効率的に活用できる
- その他

自宅で学習できる

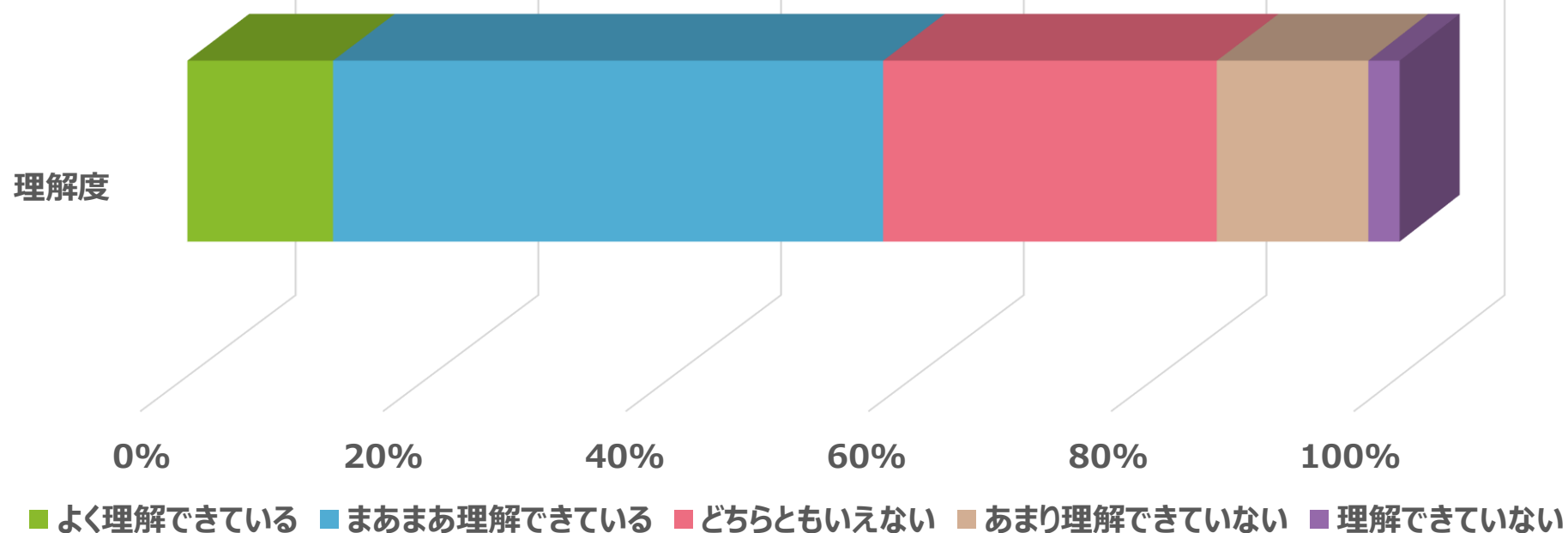
- 教材がわかりやすい
- パソコンやソフトウェアの操作を覚えられる
- 緊張せず、リラックスして学習できる
- 対人関係に悩まされることがない

好きな時間に学習できる

- 復習が何度でもできる
- 板書をノートにとる手間が省ける
- 主体的な学習ができる
- 特になし

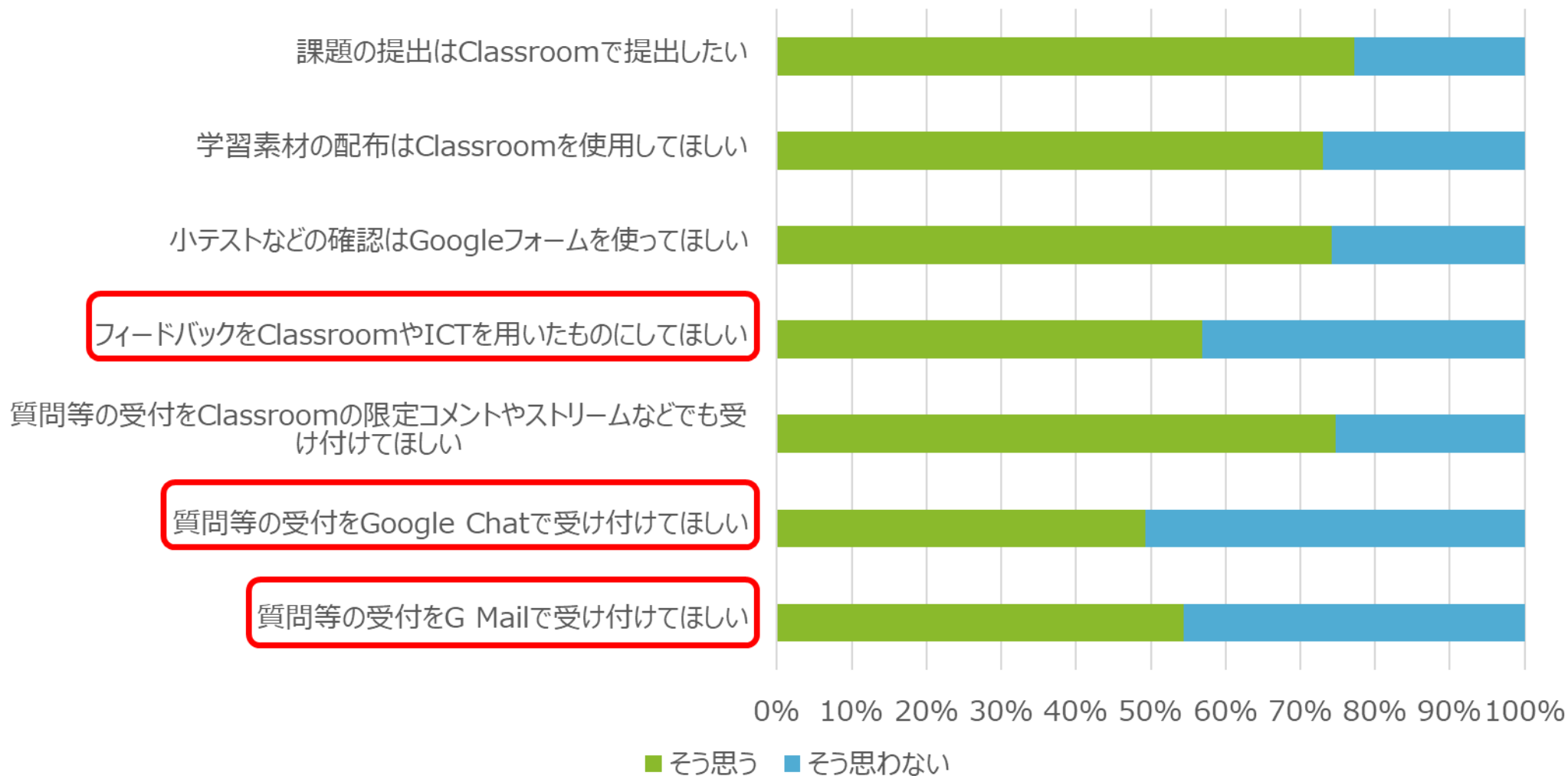
時間と場所を選ばない点が明らかに高い
学習効果や意欲といった点は、高くない

14. 現時点における授業全般の理解度についてあてはまるものを選んでください (単回答)



理解できていると感じてる回答者は62.3%

15. Googleのサービスを後期以降の対面授業で使う場合、 どの機能（方法）を授業で使ってほしいですか？（選択式回答）



Classroomを継続使用する意向は7割と高い

調査結果から判明した課題

授業運営

- 学習素材は、「動画素材」「音声付きパワーポイント」を主教材とし、印刷用や補助教材として「文字資料」の同時提示が好まれる。一方で「テキストを読むだけ」などの「動画素材」「音声付きパワーポイント」は好まれない
「音声」に加え、資料を読むだけではない内容を工夫する必要がある
- 学習素材の提供やテストなど、一方向的なものに関しては引き続きオンラインの使用をしてほしいという意見が7～8割ある。よって、対面授業においても学習素材の提供やテストなどをオンラインを用いて行うことが推奨される
- 学習のペースに関しては、オンライン授業はペースがつかみにくい一方で、メリットとして「時間と場所を選ばないこと」に関する項目が他の項目と比べて高かった相反する事象であるので、解決提示が難しい。しかし、学習素材のペースは計画をもって行い、学習の計画の立てやすいような授業指導を行う必要がある
- 課題の量に関しては、「課題の難易度が高くて、課題が多く感じる（課題に費やす時間が多い）のか」、「課題の難易度は適正で量が多いのか」を学生に聞きつつ、課題の質や量を調整するといった対応が必要である。また、科目の達成目標に対する課題の位置づけを説明することで、その課題取組の必要性を理解できるような課題提示の方法に努めることも重要

教員のオンライン授業に対するスキルの問題

- ・ **教員自身がミスに気付いてない、あるいはミスと認識してない場合**もあると推測される。授業のルール作りとともに、学生とともに授業をつくる姿勢をみせることによって、学生からの指摘を歓迎すべきである。受講生の中の何人かにそのような役割を与えるといったことで解決できることも多いかもしれない
- ・ オンライン授業特有のノウハウを教員が共有できていないために、解決できていない問題も多いと思われる。学内のFDの開催や、少人数でのグループディスカッションを通じてお互いの情報を共有し合う機会を作ることが重要

コミュニケーションの問題

- ・ 双方向的なコミュニケーションでは、オンラインツールの使用が学習素材の提供と比較してポイントが低いため、リアルな（即時性の高い）コミュニケーションを求めているのかもしれない
- ・ **オンラインオフィスアワー（ChatやMeetで定期的な質問受け付けの時間を設ける）やオンデマンド授業の中にリアルタイムのやりとりのできる回を数回、設けるといった工夫**などが解決の一助となる可能性がある

デバイスの問題

- ・ 前期はスマホで受講可能な構成内容としたが、8割弱の保有率ならPC基準としてもいいかもしれない。もしそうするなら、PCを所有していない学生に対する大学へのPC使用の入構許可や貸し出し、援助金での購入推奨などに取り組む必要がある
(Wi-fiに関しても同様)
- ・ PCを基本端末にするメリットは、スマホで制限されていた機能を使えることや、様々なソフト（アプリ）を同時に開いて作業できるため、作業効率が高いこと。加えて学生のデジタルリテラシー向上につながり、就業力強化になりうる

通信の問題

- ・ 通信への不安を抱える学生は少ない。理由として多くのキャリアが容量の無償対応によるものもあると思われるが、8月末で終わるものもいくつかあるため注視が必要